

A・B・C展示室(2・3階)

企画展 植田正治 写真の昭和

2026年6月13日(土)ー9月6日(日)



シリーズ〈小さい伝記〉より 1974-85年

今回の展覧会のテーマは、「昭和」です。懐古趣味、あるいはレトロブームとして語られることが多いのですが、1926年から1989年という60年以上におよぶ時代は、植田正治(1913-2000)の写歴、そして写真やカメラの発展の過程と密接にオーバラップしています。

昭和になると次第にカメラが一般に普及しはじめ、戦後になると国内外のメーカーが競うように、小型化、高性能化をめざし、産業としても目覚ましい発展をとげました。カメラ写真も登場し、より親しみやすくなり、昭和の人々、家族にとって、そして何より「昭和」という時代そのものにとって欠かせないアイテムとなったのです。同時に、写真は単なる記録から、豊かな表現力をもつ、芸術のひとつのジャンルとしても、ひろく認識され

るようになったのです。

植田は学生時代からカメラや写真の魅力に出会い、1932年、昭和7年には境港に「植田写真場」、仕事としての写真館を開業しながらも、アマチュア写真家としての活動に熱心に取り組んでいきます。戦後もかわらぬスタンスで、長年にわたり「写真すること」を楽しみながら、雑誌に多くの作品が掲載されるようになり、写真集が出版され、プロのような依頼も多くなってきました。そんな植田が撮り遺した無邪気な子供たちの姿、懐かしい近所の街並み、すがすがしいほど素朴な人々など、多くのイメージを通して、あらためて「昭和」という時代の魅力を浮き彫りにします。昭和はまさに写真の時代であり、写真にとって、そして植田にとって、最良の被写体であったでしょう。

[同時開催] 1階D展示室 コレクション紹介展示

植田正治物語ー写真するボクー

植田正治の生涯にわたる写真活動の軌跡を紹介しています。ぜひご覧ください。

問い合わせ先

伯耆町立植田正治写真美術館

Tel 0859-39-8000

[開館時間] 10:00~17:00(最終入館は16:30)

[休館日] 毎週火曜日(祝日の場合は翌日) ※8月11日(火)、8月12日(水)は開館

[メール] [bijyutsukan@houki-town.jp](mailto:bijyutsukan@houki-town.jp)

[HP] <https://www.houki-town.jp/ueda/>

町民の方は入館無料です

ご来館の際は、免許証など住所のわかるものを提示してください。

無料招待券

ー本券を切り取ってご利用くださいー

植田正治 写真の昭和

2026年6月13日(土)ー9月6日(日)

※本券1枚ご持参で5名まで無料でご覧いただけます。  
休館日: 毎週火曜日(祝日の場合は翌日)

※8月11日(火)、8月12日(水)は開館

伯耆町立植田正治写真美術館

伯耆町須村353-3 TEL:0859-39-8000